

産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会（第13回）

議事要旨

日時：平成31年3月27日（水曜日）10時00分～12時00分

場所：経済産業省本館17階第1共用会議室

出席者

久保委員長、岡委員、絹代委員、藤井委員、古野委員、三井委員、村山委員、笹部オブザーバー、佐久間オブザーバー

議題

- (1) 競輪・オートレースを巡る最近の状況について
- (2) 「競輪の持続的発展のための課題解決に向けて ―具体的な取組のための制度設計―」の進捗状況について

議事概要

久保委員長により、議題に沿って進行。

議事に先立ち、事務局から、会議及び配付資料を公開とすることを説明し各委員了承。

事務局からの説明の後、JKA、全輪協及び選手会から説明があった。その後、各委員等から意見が述べられた。主な意見と質疑応答は以下のとおり。

- 競輪・オートレース場に足を運んでもらう施策が必要ではないかということを考えて欲しい。インターネットだけでなく、競輪・オートレース場への来場促進策がないと売上増も続かない。
- レース映像などの価値のあるコンテンツの活用が必要である。スポーツは最もお金になる優良なコンテンツでありライブで見せるべき。競輪もそれくらい価値があるものであり、今後、その価値を活かして欲しい。
- 競輪・オートレースは、補助事業を通じて社会貢献していることをもっとPRしてもらったら良い。
- 来年度から進めようとしているモデル事業については、外部の方も招いてJKAの中に事業をバックアップするチームを作り、良いアイデアを出していくべき。
- 競輪場に足を運んでもらうためには、女性の気持ちに立った施策が必要ではないか。女性は、競輪場のスタッフの表情一つで不安になることもある。
- プレイヤーズカードはとても良くできている。選手の顔が分かるのが良い。サッカーのテレビ中継でもゴールした際は、顔と経歴といった情報が映し出される。選手が何をしているのかイメージできてそれが誰なのか分かると良い。JKAが主催した自転車競技場でのレースイベントもズームアップ映像により選手が誰なのか分かるのが良かった。
- 各施策は必ずしも全てが成功する訳ではないが、やらないと前に進まない。継続的に進め

るべきだし、失敗した施策も見直し、PDCAを回していくべき。

- レース映像は重要。レース映像をどこまで加工することが許されるのか。例えば、レース映像の選手の顔を顧客の顔に置き換えることができれば面白い。この点について今後議論を深めていけると良い。
- 施行者アンケート結果の中に、現場第一線からのアイディアがある。施策の効果を最大化していくためには、1つの競輪・オートレース場だけの取組ではなく、他の施行者へ水平展開できるようにして欲しい。
- ラグビーワールドカップでは、ホスピタリティプログラムとして、「会場に来る」ことの価値を上げ、通常の入場券よりも高額な入場券を販売している。選手と触れ合う機会や会場限定のプレゼントを渡したりし、会場に来ることに価値を生み出すようにしている。
- 各種業界において、入場管理方法、セキュリティ、購入時の決済等において、テクノロジーとの融合が進んでおり、競輪・オートレース場でも進めていただきたい。
- ミッドナイト競輪を中心に売上が伸びている状況であり、投資のできる良いタイミング。
- プレイヤーズカードの取組は非常に良い。選手1人1人がもっているストーリーを、色々なメディアを使って丁寧に伝えていくことが必要。そうすることによって、個々の選手に対する興味が出てくる。
- 競輪場への来場促進策を講じていくことは、競輪施行者の役割であると思うが、民間事業者の知恵を活用しながら実施していくことが大事であると感じた。
- 施行者アンケート結果では、ハード面の要望が多いが、例えば、わかりやすい解説を取り入れて、レースで今一体何が起きているかということが分かるようにするだけで観客の反応は違ってくる。ソフト面を重視して施策を練っていったら欲しい。
- 過去には、競輪・オートレース場に行けない時にインターネットで車券購入することを想定していたが、今の顧客はインターネットで始めて、その後、競輪・オートレース場へ来場するという方向に変化している。インターネット販売を上手に活用して、競輪・オートレース場とさらに連動していけると良い。
- 競輪・オートレースの売上は増えているが、競輪・オートレース場への来場者は減っており、ファミリー・女性・若者層を取り込むことは待ったなしの課題。
- 車券の購入だけならインターネットでできる時代。車券購入以上の楽しみが競輪・オートレース場があれば必ず来場してくれる。今、スポーツとITの連携で新しい空間や価値が生まれ、相乗効果が出てきている。競輪業界もそのような状況になって欲しい。

※なお、本議事要旨については、速報性の観点から発言者の確認は取れておらず、後日発言者の確認が取れたものを議事録として掲載する予定である旨申し添えます。

お問い合わせ先

製造産業局 車両室

電話：03-3501-1694

FAX：03-3501-6731